ＪＲ連合
ＮＥＷＳ

ＪＲ産業に集う
すべての仲間の
ＪＲ連合への
総結集を！！

2026 年度
Ｎｏ．３５

２０２６年１１月２日
日本鉄道労働組合連合会

第 22 回女性役員意見交換会

組織と政策を自分ごととして学び理解深める

ＪＲ連合は、10 月 24 日、ＪＲ連合事務所において「第 22 回女性役員意見交換会」を開催した。上村良成会長、今井孝治事務局長をはじめ、4 単組 16 名の女性役員が参画した。

かねてより事務局は、女性役員が各組織で男女平等推進関係の担当に偏りやすい傾向に課題感を持っており、今回は敢えてＪＲ連合の２本柱である「組織」と「政策」について、従来型の講義に比べ、“より分かりやすい講義”による学習会を実施した。

冒頭、上村会長は、現在のＪＲを取り巻く組織の状況と自身が入社したばかりの頃の状況を説明し、今後の組織の活性化や強化には男女平等の視点に加え、様々な系統・グループの視点も必要であり、それがゆくゆくは産業の維持発展にも繋がっていくと挨拶し、多くの知見が得られる当日の学習会の意義を説明した。そして産業政策については石川敏也産業政策局長が、組織については谷口昌隆組織局長が、難しい内容を噛み砕きわかりやすい言葉やイラストを多用した資料を用い、全員が理解しやすい平易な言葉で講義を行うことで自分ごとと捉え易くし、活発な質疑応答を行うことができた。

その後は講義の内容も踏まえて意見交換が行われた。女性役員からは「ＪＲに関わる法律や制度を知る人が少ない」「組合活動に携わる人に系統の偏りがあるように感じる」といった現場の現状について意見が出されたり、また、普段なかなか聞きづらいＪＲ他会社の状況や、専従役員の仕事や働き方についての質問も出された。

今回、女性役員の参画拡大に向け、一歩進んだ意見交換となった。さらに取り組みを飛躍させ、次回の開催へ繋げていく。


全体の学習会


少人数に分かれて意見交換



当日の参加者